



三中だより

令和6年3月19日

3月号

調布市立第三中学校

chofu3@chofu-schools.jp

～蠟梅～

副校長 吉岡 正元

春の訪れを待つある冬の朝のことである。空気が冷たい。

今日も庭の蠟梅（ロウバイ）は元気に咲いている。よかった。

この蠟梅は、寒い冬に黄色い可愛らしい花をつけるのだが、それらを自宅でも見たい、と思い3年ほど前に私が植えたものである。

1年目、木は成長し葉っぱも元気に育っていたが、花はつけなかった。

2年目、さらに木は大きくなり、葉もたくさんつけたが、冬になっても花は一つも咲かなかった。

せっかちな私は「この木はダメだな。抜いてしまおう」と家族に話した。家族は、即刻猛反対！「こんなに成長して葉っぱも元気につけているのに、もったいない」「花が咲くのにそれなりの年数がかかるものだ」と、激しい叱責をうけた。

その時、家族の言うとおりに抜かずに丁寧に育てた蠟梅が今年初めて咲いたのである。ほんの五輪ほどであろうか。枝の高い位置に最初に花芽を見つけた妻は、にこにこしながら私に教えてくれた。ああ、諦めないでよかった、と思った。

3年前、幼い顔で入学してきた3年生。制服のサイズが大きかったり、なんとなくおどおどしていた生徒達は立派に成長し、下級生の見本となっています。入学当初は落ち着きがないところもあり、学年の先生方はよく心配されていらっしやいました。また、何か問題があれば学年集会を開き、その都度根気よく指導を行ってきました。

生徒達にとっては思春期でもある大切な3年間。それぞれの努力と、保護者の方々はもちろん、時には周りの大人の助けも借りながら立派に成長しました。幼いと感じていた顔も今は自信に満ちているようです。

3年間という期間は過ぎてしまえば早いけれど、苗木だった蠟梅が花を咲かせるくらいの時間であり、尚且つ大きく成長できる大事な時期でもあるのです。生徒達の成長も、丁寧に見守っていけば必ず成果が出る、と改めて感じています。

最後に、私事で恐縮ですが、今年度をもって教員生活を終えます。新卒で教員となり、定年後も5年間働かせていただいた43年間。時代とともに様々なことがありましたが、生徒達それぞれの大切な3年間に関わってこられたこと、これは間違いなく私の人生を豊かなものにしてくれましたし、貴重な経験であり、かけがえのない時間を過ごすことが出来たと確信しています。本当に感謝でいっぱいです。

4月からはきっと学校のチャイムの音が恋しくなることでしょう。

教育目標 自他を思いやる、心豊かな人

教育目標 自ら学び考え、向上しようとする人

TGG 学習

2月28日 2年生生徒が立川・TOKYO GLOBAL GATE WAY(TGG)にて校外学習を行いました。生徒達はグループに別れ、外国を模した疑似空間で様々なプログラムを体験しました。コミュニケーションは全て英語で行われ、各グループにネイティブスピーカーの講師が付き、場面に応じた英会話を指導してくださいました。



8組校外学習

3月1日 8組生徒が校外学習でよみうりランドを訪れました。グループに別れ園内での行動計画を決めて行動しました。もうすぐ卒業する3年生との思い出を作る良い機会となりました。



笑顔と学びの体験活動プロジェクト

3月5日 東京都の推進事業の一環としてパントマイム公演が行われました。3年生生徒が参加し、前半はパントマイムパフォーマーのケッチさんによるパフォーマンスを披露していただきました。複数の生徒や先生方がケッチさんからのご指名により壇上で一緒にパントマイムを行う一幕もあり歓声と拍手がたくさん上がりました。後半はケッチさんが「夢は叶う」をテーマとし、パントマイムを始めたきっかけから、どのようにしてパフォーマーとして活動することになったのかをお話していただきました。また、パントマイム講座の時間もあり簡単な動きを教えていただき、ケッチさんがちょっとしたポイントを教えて下さるとみるみるうちに上達する姿が見受けられました。



救命講習

3月7日～14日 3年生生徒による普通救命講習を開催しました。東京都消防庁の方々を講師としてお招きし、いざという時に他人の命を守るためにどのような行動を取るべきかを学びました。AED(自動体外除細動器)を用いた実習では初めて機器に触れる生徒がほとんどでしたが、講師の先生方の指導の下、真剣に取り組みました。

